

18年度予算における主な数値

予算規模

一般会計

409億円(17年度407億円、前年度より約2億円、0.4%増)

市税収入

232億円(17年度221億円、前年度より11億円、4.9%増)

自主財源比率

自主財源とは市税・使用料等市が自主的に収入しうる財源のこと。

70.2%(17年度68.1%、2.1ポイント増)

義務的経費比率

義務的経費とは人件費・扶助費・公債費の計で任意に削減できない経費のこと

53.7%(17年度54.0%、0.3ポイント)

人件費	32.0%
扶助費	10.9%
公債費	10.8%

職員数

企業会計を含む全職員数の18年4月1日見込み

1,507人(17年4月1日1,540人、33人)

債務残高

一般会計と公共下水道会計の計の18年度末見込み

901億円(17年度末見込み932億円、31億円)

一般会計債務合計	540億円
公共下水道会計分	361億円

将来債務比率

普通会計の債務残高に対する標準財政規模の割合。18年度末見込み

197.9%(17年度末見込み208.3%、10.4ポイント)

(ただし減税補てん債等の特例債を除くと、152.3%)

基金現在高

全会計の計の18年度末見込み

50億円(17年度末見込み63億円、13億円)